

外国の方向け 日本語ボランティア入門講座

～外国人のみなさん、日本語学習の経験を活かして、日本語ボランティアをしてみませんか～

実施報告

2021年3月

<講座開催の背景>

地域日本語教室には、来日間もない人も含めた、多様な学習者が多く通ってきます。彼らに対して日本語支援を通じた生活支援を進めるうえで、日本での生活経験や日本語学習経験のある外国人との協働は有効かつ重要であると思われます。特に、日本語にまだ慣れない人は、支援者に外国人がいることで、安心して参加できることでしょう。

日本語支援に関心を持つ日本語学習経験者のみなさんと、よりよい日本語学習支援を考えながら、今後の活動を希望する人の、行動のきっかけとなることを期待して、この講座を企画しました。

<概 要>

●目 標

日本語学習経験者である外国人が当事者としての自分の強みを見つけ、日本語教室での活動をしてみたい気持ちになり、今後実際に活動を始める道筋を作る。

●日 時：2021年2月5日、26日、3月5日（金）13：30-15：30 全3回

●場 所：オンライン開催（Zoom 使用）

●参加者：日本語学習支援経験があり、日本語支援を行うことに関心のある人
11人（延べ24人）
中国5人、アメリカ・インド・タイ・ミャンマー・リトアニア・ロシア各1人

●講 師：キム ヨンナムさん（早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師）

●協 力：地域日本語教室4教室（体験受け入れ）
地域日本語教室学習支援者5人（第2回講座に参加）

【日本語教室でのボランティア体験】

●内 容：地域日本語教室で日本語支援を体験する（参加は任意）

●体験期間：2021年2月8日～2月25日

●参加者：7人

●体験場所：地域日本語教室4教室（横浜市国際交流協会主催教室を含む）

第1回

●実施日：2021年2月5日（金） ●参加者8人

日本の生活や、日本語学習経験について話そう

第1回では、日本語学習経験をもつ参加者のみなさんが、日本での生活体験や日本語学習経験を共有しました。どうやって日本語を勉強したか、勉強で大変だったことなどを話そう、さまざまに貴重な経験を持つことがわかり、お互いへの理解が深まりました。以下、参加者のみなさんの発言を中心に紹介します。

みなさんは、どこで日本語を勉強しましたか。

日本語学校、ボランティア教室、個人レッスン、母国で、仕事の中で、生活の中でなど

日本語を勉強していたとき、役に立ったこと・大変だったことは何ですか。

【役に立ったこと】

- ・会社の同僚に教えてもらった。分からないものにはフリガナを振ってくれた。
- ・地域のイベントによく参加した。 ・よく聞くこと。たくさん話すこと。
- ・テレビをよく見た。
- ・子どもと一緒に日本語教室で勉強した。 ・子どもの本を読んだ。絵本など。

【大変だったこと】

- ・N2を取って来日したが、日本語が聞き取れなかった。
- ・保育園の先生と話すのが怖かった。筆談した。
- ・ボランティア日本語教室がないところだったので、勉強するのに苦労した。

日本語学習で大事だと思うことは何ですか。

- ・生活で使う言葉を覚える。分からない言葉はすぐ調べる。
- ・テキストより、生活でよく使う単語・言葉を覚える。
- ・会話が一番大事、体で日本語を覚える。興味を持ったら勉強が楽しく面白い。
- ・宿題を出して、お互いに確認などしながら、毎日すこしでも勉強したほうがいい。
- ・最初はひらがな、カタカナを覚えて、テレビも見る。子ども向けのテレビも良い。
- ・単語が分かれば少し会話につながるので、単語をたくさん覚える。

日本語ボランティアとしてチャレンジしたいことは何ですか。

- ・学習者をサポートしながら、分からないことは一緒に勉強する。
- ・学習者に話をしてもらいたい。 ・母語で説明しながら支援をしたい。
- ・日本に来たばかりの人の支援をしたい。

日本語教室でのボランティア体験

第1回と第2回の間、日本語教室での体験期間を設けました。

第2回

- 実施日：2021年2月26日(金)
- 参加者：9人 及び日本語教室学習支援者5人

「理想の日本語教室について話し合おう」

日本語教室での体験を経た第2回の講座では、体験先の日本語学習支援者にも参加いただき、体験の振り返りや、理想の日本語教室について一緒に話しました。
どんな意見があったか、紹介します。

振り返り：日本語教室でのボランティア体験はいかがでしたか

できたこと（参加者）

- 聞き取れない人には母語を使ったら、分かってもらえた。
- 日本語があまり上手く話せなくても、みんな自分の意見を話していたので、みんなに質問をした。
- 自分が日本語をどうやって勉強したか伝えることができた。

日本語学習支援者の感想（日本語教室）

- ボランティアと学習者の境目がない会話教室だが、体験の人が自然にサポート役になってくれた。日本人では出てこないような単語が出てきて、新鮮だった。
- 自分の日本語学習の経験を話してくれたのがとてもよかった。

（日本語学習経験のあるみなさんにとって）理想の日本語教室はどんな教室ですか？

- ◆生活に必要な言葉を覚え、自分が言いたいことを相手に伝えられるようサポートする教室
- ◆文法は勉強しなくてもたくさん話す教室
- ◆学習者は日本語を勉強するときに不安を感じているので、一つずつ、ゆっくり待ってあげる気持ちが大事。
- ◆緊張感を与えないで間違ってもまずは言葉を出すことができるようにしたい。
- ◆時々はきびしくすることも大事だ。

（みなさんが）日本語学習経験を活かしてできること（★）

これから日本語を勉強する人に伝えたいこと（♥）は何ですか？

- ★日本語に興味を持ってもらう。
- ★日本語を好きになってもらう。
- ★ひらがなを教える。
- ★言葉を増やす。
- ★学習者と一緒に勉強する。
- ★日本語で話すチャンスをたくさん作る。
- ★体で言葉を覚える。
- ♥コミュニケーションが一番大事！
- ♥毎日10分でいいから勉強する！
- ♥書くだけでなく話すこと！
- ♥間違えてもいいから話すこと！



講師キムさんのコメント

みなさん終始熱く語られ、私はそのメモに忙しかったです。「これはぜひ伝えておきたい」「わかってもらいたい」と事前に用意していたことが、やり取り中にみなさんのほうからどんどん上がってきたので感心しました。



第3回

●実施日：2021年3月2日（金）

●参加者7人

日本語支援を始めてみよう！

「実際の活動はどうだったらいい?」。最終回の第3回では、日本語学習経験者の強みを生かした教室活動の紹介と、その実践を行いました。参加者は実際の教室をイメージしながら、「お互いを知る」ペア活動を体験しました。

講師キムさんの話「日本語のサポートと生活経験の共有をしよう」

「日本語学習経験者の人は、日本語での生活経験や日本語学習経験から、学習者に日本語のサポート（日本語学習のコツ）や日本での生活経験を共有することができます。日本語のサポートと生活のサポートにおいて大切なことは、次の2つです。

- ① 相手のことを知ること。一緒に話したい、考えたいことを探ること。
- ② 自分のことを知ってもらうこと。お互いのことがよく分かることで、会話が深まる。互いの気持ち・考えていること・書いたことが日本語で話せるようになる。」

「お互いのことを知る」活動に、ペアで取り組みました

ひとりでワークシートに記入（10分）→ペアで話す（30分）→
ペアで話したことの全体共有（20分）

【 取り組んでみての感想 】

- 日本の印象などの話は共通体験なので、話すことがたくさんあった。
- 互いに共通点があると話が盛り上がった。
- 共通点は、話しているうちに見つかった。
- 互いに興味がある話をすると、2人の距離感がなかった。
- ほめてもらえると、もっと話したい気持ちになった。

<ワークシート>

◆ お互いを知る ◆

1. なまえ^{なまえ}
2. 出身^{しゅん}（*わたしの国/町の紹介^{しょうかい}）
3. 趣味^{しゆみ}
4. 好きな食べ物^{たべもの}
5. いつ日本に来ましたか?^{いつにほんにきたらしたか}
6. <日本に来て>第一印象^{だいいつげん}
7. <日本での>「びっくり」^{びっくり}
「なぜ/不思議」・「困ったこと」^{なぞ/ふしぎ}
8. <日本での>「感動」・「うれしい」^{かんとく}
&日本のこれが「好き！」^{にほんのこれがかいき}
9. これからやってみたいこと^{これからやってみたいこと}
10. わたしへの質問^{わたしへのしつもん}

講師キムさんからのコメント

日本で暮らしている日本語学習経験者は、一から日本語を学んだ上、身をもって日本の生活を体験しているため、その経験談を少し分けてもらうだけでも日本に住んでいる私たちみんなには大変勉強になると思います。そのため、ご提案いただいた当初から、なんて素晴らしい企画と思いました。

実際講座に参加されたみなさんは長年日本で暮らしていて経験豊かな方が多く、また、これから海外から日本に渡ってくる人々に何らかの形で力になってあげたいという高い意識を持ち合わせていました。講座では、それぞれの日本での生活や学習経験談を共有しながら、自分には何ができるのか、どうすればいいのか、などをみんなで話し合いましたが、実は、答えは最初からみなさんの中にあっただと思います。私はそれを外に取り出し、整理し、一つにまとめるなどをしましたが、その時すでに参加者のみなさん、今すぐにも日本語サポート役に回ることができると思いました。

今回の講座は、私にもたくさんの気づきがあり、多くのことを学べる貴重な時間となりました。

主催者をはじめ、関係者の皆さまに深く感謝します。